



平成二十九年五月六日

皇紀2677年
(西暦2017年)
第146号

発行：淀姫神社社務所
〒859-4501
松浦市志佐町浦免632
TEL・FAX 0956-72-0653

初夏の暑さですね

六月並みの陽気です

これを書いているのは五月六日です。
このところ、やや暑い日が続いています。

全国的に見ても、北海道で30℃以上の真夏日を記録したりと、一気に暖かくというよりやや暑くなってきました。

ここ松浦でも、25℃以上の夏日を観測することもちらほら出てきて、初夏真っ盛りといった日が続いています。

さて、テレビの気象情報コーナーでも盛んにいわれていますが、この時期は特に気をつけたのが「熱中症」です。

体が暑さに慣れていないということも要因ですが、なにより車の中などは室内温度がかなり高くなります。晴れた日ですと、ダッシュボード付近は70℃を超えることもあります。

真夏の熱中症は皆さんお気をつけになつてい
ると思いますが、この時期もかなり
要注意ですので、お気をつけくださ
いね。



神社うんちく帖

前回から「神社うんちく帖」ということで、
神社についての豆知識を書き始めております。

前号を読み返すと、豆知識というよりも、
「神道の歴史」みたくなっていますね。

まあ、あっち寄りこっち寄りしながらですが、
おつきあいをお願いしたく。

今回のお題は、
「信仰の場所」

このあたりから。前回の続きです。

◆昔は神社なんかなかったんですよ

いま皆さまにおなじみの神社といえは、鳥居
があつて、参道があつて、社殿があつて。

ちゃんとした建築物があつて、そこにお鎮ま
りされているもの、というイメージが強いと思
います。しかし、実は大昔には、そういう建築
物などはありませんでした。

前号でも書きましたが、神さまはこの世界の
すべてにあまねく存在しており、この世界その
ものが神さまだったのです。

しかし、人間の営みは常に大自然の猛威など
にさらされます。いまでいう自然災害はもとよ
り、大雨や日照りなどによって、その営み

は大きく左右されてしまっています。

神さまと共に生きていくために、
神さまの力をいただくために、人々

は神さまをお呼びし、祈ることを始
めました。それをなすための場所と
して「神さまにお降りいただく場」、
つまり「御座所（ござしょ）」が生
まれたのです。

「御座所」として選ばれたのは、自
然の巨石だったり、常緑樹の巨木
だったりします。

それらの巨石や巨木は「依り代」
と呼ばれ、神さまの住まう山（かん
なび）や森などの神聖とされた場所
にあるものが選ばれます。

御座所は、石の場合は「磐座（い
わくら）」と呼ばれ、樹木の御座所
は「神籬（ひもろぎ）」と呼ばれま
した。他にも洞窟なども御座所にな
ることがありました。

人々はそこで神さまの降臨を仰い
で、「かみまつり（神祀り）」をす
るようになりました。そして、そこ
で祭祀が執り行われるようになった
のが、「祭り」となったのです。

淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。
ぜひともチェックしてくださいませ。